

シラバス

1. 科目区分 教職関係科目
2. 科目名・単位数 教育社会学(2単位)
3. 担当者氏名・所属 耳塚寛明
4. 連絡場所 文教育学部1号館2F 教育社会学研究室
5. 標準履修年次・学期 I～IV前期
6. 受講条件・受講上の注意 とくにない。
7. 授業の形態 講義
8. 教科書・参考文献 教科書は用いない。参考文献は、その都度示す。
9. 試験・成績評価の方法

小試験(50%程度)+最終試験(50%程度)
(小試験は、予告なしに行うする。)

10. 主題と目標

教職それ自身と、学校組織を社会的に分析する。

- §1 教職の社会学 教職はどんな職業か
- §2 教育組織の社会学 学校組織の社会的解剖
- §3 学校組織の社会的機能 進路選択の社会学
- §4 学力の社会学

11. 授業計画

- §1 教職の社会学 教職はどんな職業か
 - 1) 教師の仕事
 - 2) 専門職としての教職
 - 3) 教師の社会的地位
- §2 教育組織の社会学 学校組織の社会的解剖
 - 1) 学校組織への社会的アプローチ
 - 2) 官僚制と逆機能
 - 3) 官僚制組織としての学校
 - 4) 学校組織の新たなモデル
- §3 学校組織の社会的機能 進路選択の社会学
 - 1) 社会化と選抜・配分機能
 - 2) トラッキング
 - 3) 教師=生徒関係
- §4 学力の社会学 学力階層化社会
 - 1) 学力は低下したか
 - 2) 学習遅滞と学習速進
 - 3) 社会階層・努力・学力
 - 4) ペダゴジーと学力

12. その他

Office Hour は、水曜日午後(教授会等がない日)。

質問等は、電子メールで受け付けます。 mail to: mimi@li.ocha.ac.jp

授業予定日 4/21 4/28 5/12 5/19 5/26 6/2 6/9 6/16 6/23 6/30 7/7 7/14

7/24 (水曜日、月曜日授業に振り替え) = 試験

§0. Introduction 教育社会学とはなにか?

1. 「教育社会学」とは？

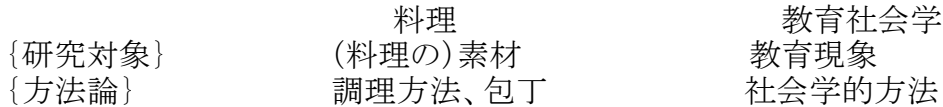
「教育現象」を対象に、「社会学的方法」をもって解明する、教育科学・人間科学・社会科学

2. 学問の分類

① 研究対象による分類 ② 方法論（「知識」を創造する方法）による分類

次ページの図を参照のこと。

1) 研究を料理に例える 方法論は包丁論



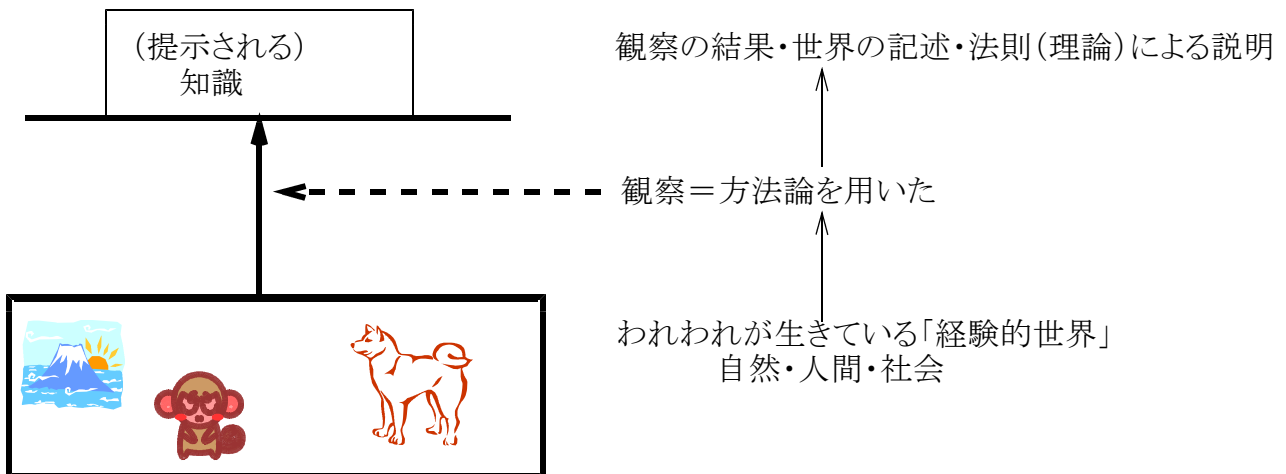
2) 方法論は研究対象によって限定される / 研究対象は方法論によって限定される

3) 無意識の「研究者」と、「意識的・組織的な」研究者

4) 高校生と大学生 知識の受容者から知識の生産者へ

5) 「規範学」と「存在学」

Q 高校までの教科書(知識)を考える



§ 1 教職の社会学 教職はどんな職業か

- 1) 教師の仕事
- 2) 専門職としての教職
- 3) 教師の社会的地位

小レポート1

Q 次の1節を読んで、あなたの意見を書きなさい。

「ここが学校である限り、生徒は教師側の設定した時空間からはずれることはできません。そんなの当たり前じゃないですか。・・・権力的でない空間なんてこの世に存在しないんですよ。あなたも権力的な教師なんですよ。」

「でも、ワタクシは教育は権力とかそういうものとは関係ないものだと信じていますわ。学校というのは人間の教育の場でしょ。教育というのはお互いに信頼しあってこそできるものじゃありませんこと。権力とはいちばん縁遠いもので、自由や平等や民主主義に近いものでしょ。ワタクシ、村上先生のおっしゃるように教育を考えたくありませんわ。いい

>NO1+シラバスvs.jtd<

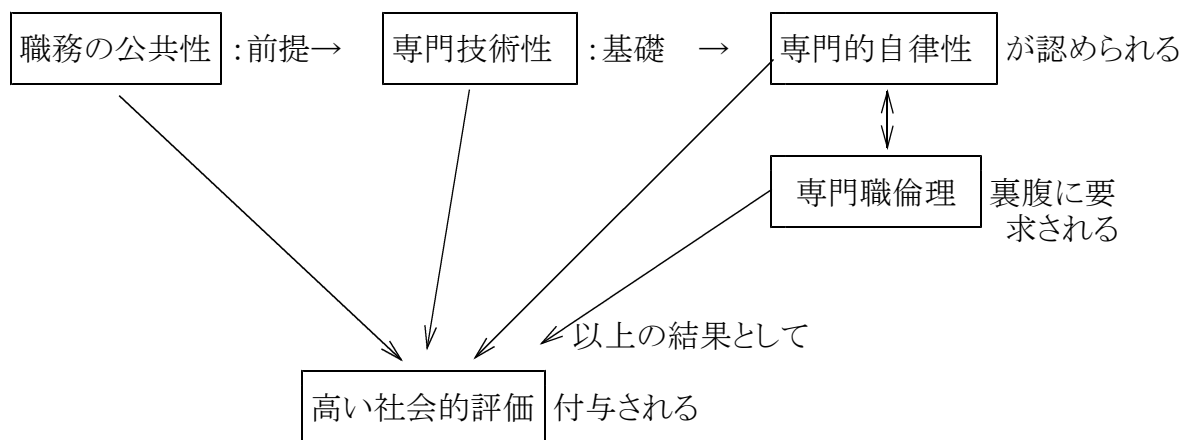
え、教育をそういう風に考えちゃいけないんじゃないじゃありません？信頼で成り立つものですよ」
(諏訪哲二『日の丸』JICC 出版局、86 pより)

1) 教師の仕事

- (1) 教師と教員:
- (2) 学校教員の性格: 学校教員とは何か。
→Q. 教師とはどんな性格を持っているか。What is the teacher?
- (3) 葛藤する諸役割: 教師の仕事に困難にするもの
→Q. 以上のように、学校教員は多様な顔を持っている。その多様な顔の存在は教職にいかなる影響を与えるだろうか？
- (4) 学校の機能の肥大化と変質: 教員の仕事に困難にするもの
- (5) 労働形態: 学級王国の中での孤独
- (6) 学校組織の特徴: 自律-平等型組織
→Q. 学校教員の組織を企業や役所のそれと比較せよ。

2) 専門職としての教職: 教職はどこまで専門職か?

- (1) ILO-UNESCOの「教員の地位に関する勧告」1966
「教職は、専門職と考えられるべきである。それは、きびしい不断の研究により得られ、かつ維持される専門的知識と専門的技術を教員に要求する公共の役務の一形態であり、また、それは、教員があずかる生徒の教育と福祉について個人および共同の責任を要求するものである。」
- (2) 専門職とは何か: Profession



- (3) 教職は専門職か
- (4) 教職の専門技術性を阻害する要因
- (5) 専門職化論の限界と、その再検討

3) 教師の社会的地位

- (1) 教師の社会的地位をとらえる
- (2) 教師の経済的地位
- (3) 教職の威信
- (4) 教職の社会的地位は、どのように変化していくのか？